

安全データシート

作成日：2015年7月23日

改定日：2023年4月3日

1. 化学品及び会社情報

製品名	:	NK フレーク NS 樹脂
販売元 会社名	:	CRM 株式会社
住所	:	名古屋市名東区社口1丁目913番地
製造元 会社名	:	富士レジン工業株式会社
担当部門	:	技術部
住所	:	兵庫県尼崎市潮江3-1-17
電話番号	:	06-6499-0303
FAX	:	06-6498-4032

2. 危険有害性の要約

[GHS 分類]

物理化学的危険性	:	引火性液体	区分4
健康有害性	:	皮膚腐食性/刺激性	区分2
	:	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
	:	生殖細胞変異原性	区分2
	:	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(神経系)
環境に対する有害性	:	水生環境有害性 短期(急性)	区分3

[GHS ラベル要素]

絵表示又はシンボル



注意喚起語	:	警告
危険有害性情報	:	(H227) 可燃性液体 (H315) 皮膚刺激 (H319) 強い眼刺激 (H341) 遺伝性疾患のおそれの疑い (H373) 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(神経系) (H402) 水生生物に有害

注意書き

安全対策

:	(P201) 使用前に取扱説明書を入手すること。
:	(P202) 全ての安全注意事項を読み理解するまで取り扱わないこと。
:	(P210) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
:	(P260) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
:	(P264) 取扱い後は、よく手などを洗うこと。
:	(P273) 環境への放出を避けること。
:	(P280) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

:	(P302+P352) 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
:	(P305+P351+P338) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
:	(P308+P313) ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。
:	(P314) 気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。
:	(P332+P313) 皮膚刺が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
:	(P337+P313) 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当を受けること。
:	(P362+P364) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
:	(P370+P378) 火災の場合：消火するために二酸化炭素、泡又は粉末消火器を使用すること。

保管

:	(P403) 換気の良い場所で保管すること。
---	------------------------

- (P405) 施錠して保管すること。
- 廃棄 : (P501) 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
- GHS 分類区分に該当しない他の危険有害性
- GHS 区分に該当しない : 区分1の皮膚感作性物質が0.1%以上1.0%未満存在する。
- い他の危険有害性 : 区分1の呼吸器感作性物質が0.1%以上1.0%未満存在する。
区分2の生殖毒性物質が0.1%以上3.0%未満存在する。
区分2の特定標的臓器毒性(反復)物質が1.0%以上10%未満存在する。(肝臓、呼吸器、腎臓)

3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物
- 化学名又は一般名 : ビニルエステル樹脂

名前	CAS 番号	濃度	化学式等	官報公示整理番号	
				(化審法)	(安衛法)
ビニルエステル	非公開	47 - 57%	非公開	非公開 (既存化学物質)	非公開 (既存化学物質)
モノマー	非公開	32 - 40%	非公開	非公開 (既存化学物質)	非公開 (既存化学物質)
ビニルトルエン	25013-15-4	2 - 11%	C9H10	(3)-8	既存化学物質
石油留分	64742-55-8	1 - 3%	特定できず	(9)-1692	既存化学物質
メタクリル酸	79-41-4	< 1%	CH ₂ =C(CH ₃)COOH	(2)-1025	既存化学物質
アモルファスシリカ	7631-86-9	0.5 - 1.5%	SiO ₂	(1)-548	既存化学物質
メタクリル酸メチル	80-62-6	< 0.4%	C ₅ H ₈ O ₂	(2)-1036	既存化学物質

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、毛布などで保温して安静にさせる。状態が悪ければ、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染した衣類や靴を脱ぎ、付着部分を布でよく拭き、その後石鹸を用い、水もしくは温水でよく洗い落とす。炎症が生じた場合は医師の手当てを受ける。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、水でよく口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受ける。嘔吐が自然に起こったときは、気管への吸入が起きないように身体を傾斜させる。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見無し
- 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 : 火気に注意する。眼、皮膚のばく露を防ぐため、保護眼鏡、耐油性保護手袋などの保護具を着用する。蒸気の吸引を防ぐため呼吸用保護具を着用する。
- 医師に対する特別な注意事項 : 安静に保ち、医学的な経過観察が不可欠である。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール泡消火剤、水噴霧
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 火災時の特有の危険有害性 : 加熱により容器が爆発するおそれがある。火災によって刺激性、有毒ガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、耐アルコール泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は、すみやかに安全な場所に移す。
- 消火活動を行うものの特別な保護具及び予防措置 : 消火作業の際には、有害なガスを吸い込まないように自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には、必ず保護具を着用し、風上から作業する、処理作業の際には、保護具(耐油性手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具等)を着用し、飛沫が皮膚に付着した

- 環境に対する注意事項 : 漏出物が、河川、下水、排水路等に流れ込むのを防止する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、乾燥砂、おがくず、ウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、密閉できる容器に回収する。残った液は、乾燥砂、おがくず、ウエス等で拭き取り、密閉できる容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。河川、下水、排水路等へ流出した場合、直ちに地方自治体の公害関連部署に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 本 SDS を読み理解してから取り扱う。火気厳禁。火気、火花を発生するものや、高温着火源の付近で使用しない。容器を無理に転倒させたり、衝撃を加えたり、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしない。接触、吸入及び飲み込まない。眼に入れない。
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 局所排気・全体換気 : 取り扱う場合は、局所排気内または全体換気の設備のある場所で取り扱う。
- 保管
- 安全な保管条件 : 容器は直射日光を避け、通風の良い、冷暗所に保管する。消防法、労働安全衛生法等の法令に従う。
- 安全な容器包装材料 : 消防法及び国連危険物輸送に関する勧告で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会	ACGIH
ビニルトルエン			TWA 50 ppm、STEL 100 ppm
石油留分		3mg/m ³ (鉱油ミスト)	5 mg/m ³ TWA (excluding metal working fluids, inhalable particulate matter)
アモルファスシリカ		【粉塵許容濃度】(第三種粉塵) 吸入性粉塵2mg/m ³ 総粉塵8mg/m ³	
メタクリル酸	設定されていない	2ppm(7.0mg/m ³)	TLV-TWA 20ppm
メタクリル酸メチル		2ppm	TWA 50 ppm、STEL 100 ppm

- 設備対策 : 局所排気装置、安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設置する。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 有機ガス用防毒マスク、送気マスク、自給式呼吸器
- 手の保護具 : 耐油性保護手袋
- 眼、顔面の保護具 : 側板付保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護着(帯電防止型)、保護靴(帯電防止型)

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 淡黄色
- 臭い : アクリル臭
- pH : データなし
- 融点 : データなし
- 凝固点 : データなし
- 沸点 : >100°C(モノマー)
- 引火点 : 85.5°C(セタ密閉式)
- 自然発火点 : データなし

分解温度	:	データなし
可燃性	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
相対蒸気密度(20°C)	:	データなし
相対密度	:	1.0-1.2(25°C)
密度	:	データなし
相対ガス密度	:	データなし
溶解度	:	水に不溶、アセトン等の有機溶剤に可溶。
n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)	:	データなし
爆発限界(上限、下限)(g/m ³)	:	データなし
粘度	:	0.7-1.1 Pa/s(25°C)
動粘性率	:	データなし
粒子サイズ	:	データなし
粒径分布	:	データなし
粒子形状	:	データなし
粒子アスペクト比	:	データなし
粒子比表面積	:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	:	熱、光、過氧化物等により重合反応を起こす。
化学的安定性	:	密閉状態で冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性	:	データなし
避けるべき条件	:	加熱、光、静電気の発生を防ぐ。 通気性のある材料の使用は避けること。 構成成分に対して透過性のある材料や可溶性材料の使用は避けること。
混触危険物質	:	硬化に過氧化物を使用する際は、過剰量を混触しないこと。
危険有害な分解生成物	:	加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	:	分類できない (データ不足)
急性毒性(経皮)	:	分類できない (データ不足)
急性毒性(吸入)	:	区分に該当しない(気体) (非該当) 分類出来ない(蒸気) (データ不足) 分類できない(粉じん、ミスト) (データ不足)

ビニルトルエン	急性毒性(経口)	ラット LD50 4000mg/kg(HPVIS、ACGIH)
	急性毒性(経皮)	ラット LDLo 4500mg/kg(IUCLID)
	急性毒性(吸入：蒸気)	ラット LC0(8hr)2500ppm(IUCLID)
モノマー(非公開)	急性毒性(経口)	ラット LC50(4hr)3.9mg/L(RTECS)
アモルファスシリカ	急性毒性(経口)	ラット LD50 >3300mg/kg、>5000mg/kg(SIDS)
	急性毒性(経皮)	ウサギ LD50 >2000mg/kg(SIDS)
	急性毒性(吸入：粉塵)	ラット LC50(4hr)>2.08mg/L(SIDS)
メタクリル酸	急性毒性(経口)	ラット LD50 1060～2260mg/kg(初期リスク評価書)
	急性毒性(経皮)	ウサギ LD50 500～2000mg/kg(初期リスク評価書)
	急性毒性(吸入：ミスト)	ラット LC50(4hr)1981ppm(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル	急性毒性(経口)	ラット LD50 7900mg/kg、8500mg/kg(ECETOC)
	急性毒性(経皮)	ラット LD50 7500mg/kg(初期リスク評価書)、ウサギ LD50 >5000mg/kg(RTECS)
	急性毒性(吸入：蒸気)	ラット LC50(4hr)7093ppm(ECETOC、初期リスク評価書)

皮膚腐食性/刺激性	:	皮膚刺激
モノマー(非公開)		皮膚刺激性(他社SDS)
ビニルトルエン		ウサギ 皮膚刺激性試験 刺激性 (IUCLID)
石油留分		長期間繰り返しばく露 皮膚の脱脂、皮膚炎のおそれ (MSDS-OHS)
アモルファスシリカ		ウサギ 皮膚刺激性試験(OECD TG404、0.5g、4時間) 刺激性なし(SIDS) ウサギ パッチテスト(0.5g、24時間) 刺激性なし(SIDS)
メタクリル酸		ウサギ 皮膚刺激性試験(3分間) 腐食性(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル		ウサギ 皮膚刺激性試験(2g/kg以上適用) 強度の紅斑、中等度～強度の浮腫(14日後も刺激性)(ECETOC、初期リスク評価書)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	強い眼刺激
モノマー(非公開)		重度の眼刺激(他社SDS)
ビニルトルエン		ウサギ 眼刺激性試験 軽度の刺激性(HPVIS)
石油留分		ウサギ 眼刺激性試験 中等度の刺激性(MSDS-OHS) 長期間繰り返しばく露 結膜炎のおそれ(MSDS-OHS)
アモルファスシリカ		ウサギ 眼刺激性試験(OECD TG405、100mg) 刺激性なし(SIDS) ウサギ 眼刺激性試験(ドレイズ法、100mg) 刺激性なし(SIDS) ヒト 眼刺激性(HSDB)
メタクリル酸		ウサギ 眼刺激性試験 角膜混濁他(7日後も回復せず)、化学火傷、角膜上皮の壊死脱落等(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル		ウサギ 眼刺激性試験 軽微な結膜刺激(48時間以降に回復)(初期リスク評価書) ウサギ 眼刺激性試験 軽度～中等度の刺激性(結膜赤変:グレード2)(EU-RAR、ACGIH)
呼吸器感作性	:	分類できない (データ不足)
皮膚感作性	:	分類できない (データ不足)
モノマー(非公開)		呼吸器感作性 過敏なヒト 長期間または反復ばく露 アレルギー反応のおそれ(他社SDS) 皮膚感作性 過敏なヒト 長期間または反復ばく露 アレルギー反応のおそれ(他社SDS)
ビニルトルエン		スチレンにアレルギーを示したヒト 交差反応(IARC、IUCLID)
石油留分		長期間ばく露 皮膚感作性のおそれ(MSDS-OHS)
アモルファスシリカ		モルモット 皮膚感作性試験(GPMT法) 感作性なし(IUCLID)
メタクリル酸		モルモット 皮膚感作性試験 感作性なし(初期リスク評価書) ヒト 感作性試験 陽性(1例)、陰性(多数)(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル		呼吸器感作性 日本産業衛生学会 起動感作性第2群(人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質) 皮膚感作性 日本産業衛生学会 皮膚刺激性第2群(人間に対しておそらく感作性があると考えられる物質)

生殖細胞変異原性	:	遺伝性疾患のおそれの疑い
ビニルトルエン		マウス in vivo小核試験(腹腔内投与) 陽性(ACGIH) サルモネラ菌 エームス試験 陰性(HPVIS)
アモルファスシリカ		ラット in vivo染色体異常試験/優性致死試験(単回/反復経口投与) 陰性(SIDS) CHO 細胞 染色体異常試験/HGPRT 遺伝子突然変異試験 陰性(SIDS)
メタクリル酸		サルモネラ菌 エームス試験 陰性(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル		in vivo優性致死試験 陰性(EU-RAR、ECETOC) in vivo染色体異常試験/小核試験 陰性(EU-RAR、ECETOC) サルモネラ菌 エームス試験 陰性(初期リスク評価書) CHO 細胞 姉妹染色分体交換試験 陽性(初期リスク評価書)
発がん性	:	分類できない (データ不足)
ビニルトルエン		IARC グループ3(ヒト発がん性については分類することができない) ACGIHA4(ヒト発がん性因子としては分類できない)
石油留分		(高精製品)IARC グループ3(ヒト発がん性については分類することができない) (無精製、中程度の精製品)IARC グループ1(作用因子はヒト発がん性である)
アモルファスシリカ		IARC グループ3(ヒトに対する発がん性については分類することができない) ラット/マウス 103週間(93週間)混餌投与試験 腫瘍発生なし(SIDS) マウス 1年間吸入暴露試験(沈降シリカ) 肺腫瘍発生なし(HSDB)
メタクリル酸メチル		IARC グループ3(ヒトに対する発がん性について分類できない) ACGIH A4(ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質)
生殖毒性	:	分類できない (データ不足)
ビニルトルエン		(p-異性体)妊娠6~15日のラット 混餌投与試験 骨化へのわずかな影響 NOAEL=600mg/kg/day(HPVIS) 妊娠 6~27 日のウサギ 経口投与試験 生存児数や性差等に影響なし、催奇形性なし NOAEL=150mg/kg/day(HPVIS)
アモルファスシリカ		ラット 1世代繁殖毒性試験(交配前4.5ヶ月間、交配後6ヶ月間混餌投与) 500 mg/kg : 生殖影響なし(SIDS) 妊娠6~15日のラット(または妊娠6~15日のマウス) 発生毒性試験 13.5~1350 mg/kg(または13.4~1340 mg/kg) : 母動物毒性や胎児毒性および発生毒性なし(SIDS) 妊娠 6~18 日のウサギや妊娠 6~10 日のハムスター 発生毒性試験 16.0~1600 mg/kg : 母動物毒性や胎児毒性および発生毒性なし(SIDS)
メタクリル酸		ラット/マウス 90 日間吸入暴露試験 最大濃度 1071 mg/m3 : 生殖器影響なし(環境省リスク評価)
メタクリル酸メチル		妊娠6-15日のラット 吸入ばく露試験 母体毒性(死亡等)用量 : 胎児毒性(EU-RAR、初期リスク評価書) 妊娠 6-15 日のラット 吸入ばく露試験 胎児毒性なし NOAEL=2028ppm(初期リスク評価書)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	分類できない (データ不足)
モノマー(非公開)		飲み込むと有害のおそれ (他社SDS) 皮膚から吸収すると有害のおそれ (他社SDS) 吸入すると有害のおそれ。呼吸器刺激性 (他社SDS)
ビニルトルエン		ヒト 400ppm : 眼や上気道の刺激性(ACGIH) ビニルトルエン等の高濃度暴露 衰弱、中枢神経系の影響(記憶障害等)(IUCLID) ラット 8 時間吸入暴露試験 2500ppm : 眼や鼻の刺激性、酩酊等(IUCLID)
石油留分		ラット 4時間吸入ばく露試験 行動異常、振戦、呼吸困難等 (RTECS)
アモルファスシリカ		ラット 1時間吸入暴露試験 濃度>2.2mg/L : 刺激性、呼吸困難(IUCLID)
メタクリル酸		ボランティア 吸入暴露試験 0.4~3mg/m ³ : 眼や上気道の刺激(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル		ヒト 気道刺激性、脱力、発熱、めまい、吐き気、頭痛眠気 の症状(EU-RAR)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (神経系)
ビニルトルエン		ラット 13週間吸入暴露試験 160ppm以上 : 軽度の腎障害 NOAEL=60ppm(HPVIS) マウス 13週間吸入暴露試験 10ppm以上 : 鼻腔上皮の化成、 60ppm以上 : 嗜眠、肺の炎症(HPVIS) ラット/モルモット 139日間吸入暴露試験 1130ppm以上 : 肝 臓の脂肪変性等 NOAEL=580ppm(HPVIS) 反復暴露や高濃度暴露 中枢神経系の抑制(NTP)
石油留分		長期間繰り返し吸入暴露 繊維性の結節や脂質性の肺炎、肉 芽腫のおそれ(MSDS-OHS)
アモルファスシリカ		沈降性非晶質シリカ製造及び取扱い作業員 珪肺性や肺疾患 なし(SIDS) ラット 13 週間吸入暴露試験 1.3mg/m ³ : 軽度の炎症反応等 (速やかに回復)、5.9mg/m ³ 以上 : 限局性間質性線維症(SIDS)
メタクリル酸		労働者 作業環境濃度20~80mg/m ³ : 血小板の減少、指の振戦 等、神経系の症状(初期リスク評価書) マウス 90 日間吸入暴露試験 100ppm以上 : 鼻腔嗅上皮変 性、300ppm : 鼻炎、白血球数減少、腎臓尿細管上皮の巨大細 胞化 NOAEL=20ppm(初期リスク評価書) ラット 6 ヶ月間経口投与試験 5mg/kg/day : 反射能低下、肝 臓 や 腎 臓 、 副 腎 の 委 縮 、 赤 血 球 減 少 NOAEL=0.05mg/kg/day(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル		ヒト 萎縮性鼻炎、喉頭炎、自律神経障害、神経衰弱、頭痛、 眩暈、神経過敏等(環境省リスク評価書) ラット 104週間吸入ばく露試験 嗅上皮の変性及び萎縮 NOAEL=25ppm(初期リスク評価書)
誤えん有害性	:	分類できない (データ不足)
ビニルトルエン		炭素数9の炭化水素 動粘性率 : 0.93mm ² /s(計算値)
石油留分		低い粘度のオイル摂取 肺吸引、肺損傷、死亡のおそれ (MSDS-OHS)

	炭化水素 動粘性率：19cSt 以下(40°C)(REGISTRY)
--	------------------------------------

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性) : 水生生物に有害
 水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない
 (データ不足)

ビニルトルエン	魚類(ニジマス)LC50(96hr)>5000mg/L(IUCLID) 魚類(ファットヘッドミノー)NOEC(7day)>5000mg/L(IUCLID) 甲殻類(ミジンコ)NOEC(7day)552mg/L(IUCLID) 甲殻類(オオミジンコ)NOEC(21day)>1000mg/L、1020mg/L(IUCLID)
石油留分	魚類(コイ)LC50(72hr)>10000 mg/L(HSDB) 魚類(ゼブラフィッシュ)LC0(96hr)10000 mg/L(SIDS) 甲殻類(オオミジンコ)EC50(24hr)>10000 mg/L(SIDS) 藻類 NOEC(72hr)10000mg/L(SIDS)、60mg/L(IUCLID)
アモルファスシリカ	魚類(コイ)LC50(72hr)>10000 mg/L(HSDB) 魚類(ゼブラフィッシュ)LC0(96hr)10000 mg/L(SIDS) 甲殻類(オオミジンコ)EC50(24hr)>10000 mg/L(SIDS) 藻類 NOEC(72hr)10000mg/L(SIDS)、60mg/L(IUCLID)
メタクリル酸	魚類(ニジマス) LC50(96hr) 85mg/L(初期リスク評価書) 甲殻類 (オオミジンコ) EC50(48hr) >130mg/L、NOEC(21day) 53mg/L(初期リスク評価書) 藻類(ムレミカヅキモ) ErC50(72hr) 14mg/L、NOEC(72hr)8.2mg/L(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル	魚類(ファットヘッドミノー)LC50(96hr)130mg/L(初期リスク評価書) 甲殻類(オオミジンコ)EC50(48hr)69mg/L(初期リスク評価書) 藻類(ムレミカヅキモ)EbC50(96hr)170mg/L(初期リスク評価書)

残留性・分解性

メタクリル酸	生分解性試験(2週間) 良分解性(既存点検)
メタクリル酸メチル	生分解性試験(2週間) 良分解性(既存点検)

生体蓄積性

ビニルトルエン	BCF=110(HPVIS) logPow=3.36(計算値)(IUCLID)
石油留分	logPow=3.9~6(計算値)(IUCLID)
メタクリル酸	BCF=0.2(計算値)(初期リスク評価書) logPow=0.93(測定値)、0.99(計算値)(初期リスク評価書)
メタクリル酸メチル	BCF=2.3(計算値)(初期リスク評価書) 濃縮性は低いと推定(初期リスク評価書)

土壤中の移動性

ビニルトルエン	Koc=820(HSDB)
メタクリル酸	Koc=15(HSDB)

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない
 (データなし)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去したのちに、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	:	非該当
品名(国連輸送名)(UN RTDG)	:	非該当
容器等級(UN RTDG)	:	非該当
輸送危険物分類(UN RTDG)	:	非該当

海上輸送(IMDG)

国連番号(IMDG)	:	非該当
品名(国連輸送名)(IMDG)	:	非該当
容器等級(IMDG)	:	非該当
輸送危険物分類(IMDG)	:	非該当

航空輸送(IATA)

国連番号(IATA)	:	非該当
品名(国連輸送名)(IATA)	:	非該当
容器等級(IATA)	:	非該当
輸送危険物分類(IATA)	:	非該当

海洋汚染物質 : 非該当

国内規則

陸上輸送	:	消防法の規定に従うこと。
指針番号	:	171
輸送の特定の安全対策及び条件	:	容器の転倒、落下、摩擦など、容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。容器ごとに漏れの有無、栓の閉まり具合を確認する。

15. 適用法令

化審法	:	優先評価化学物質(法第2条第5項) メタクリル酸
労働安全衛生法	:	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) ビニルトルエン 鉱油 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) ビニルトルエン (政令番号 : 464) 鉱油 (政令番号 : 168) メタクリル酸メチル (政令番号 : 557)
毒物及び劇物取締法	:	通知対象物質ではありません
消防法	:	第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体(法第2条第7項危険物別表第1・第4類)
大気汚染防止法	:	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申) メタクリル酸 メタクリル酸メチル 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達) 揮発性有機化合物 揮発性有機化合物 法第2条第4項 (平成14年度VOC排出に関する調査報告) 揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	:	有害でない物質(施行令別表第1の2) 二酸化けい素 有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1) ビニルトルエン

		メタクリル酸 メタクリル酸メチル
特定有害廃棄物輸出入規制法 (バーゼル法)	:	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年環境省令第12号) ロに掲げる有機溶剤を含む物 イ又はロに掲げる有機溶剤以外の有機溶剤を含む物 通知対象物質ではありません
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)		
労働基準法	:	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1) メタクリル酸メチル がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号) すす、鉍物油、タール、ピッチ、アスファルト又はパラフィン 感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号) メタクリル酸メチル
じん肺法	:	法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業 シリカ

16. その他の情報

記載内容の問い合わせ先	:	富士レジン工業(株)技術部 TEL 06-6499-0303
参考資料	:	製品安全データシートの作成指針(日本化学工業協会) 化学物質労働安全衛生法規制便覧(第一法規出版) 産業中毒便覧(医歯薬出版) 溶剤ポケットブック(オーム社) 14705 の化学商品(化学工業日報社) 安全衛生情報センター モデル SDS 情報 JIS Z 7253 : 2019

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意をしてください。

ここに記載された情報は、原材料メーカー・弊社のデータ及び種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。

安全な取り扱いを決定する際に、この情報を採用するか否かは使用者がその責任においてお決めください。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法令規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうる事をご承知おき下さい

本製品に当社が認めた材料以外のものを混合したり、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用するときは、使用者によって安全性を確認してください。

本データシートに記載のデータは保証値ではありません。